

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

■ マーケットサマリー

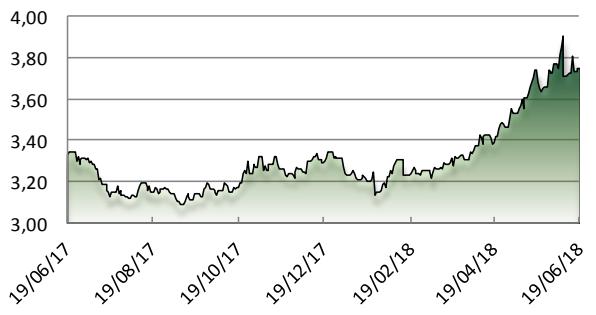
米中による関税の報復合戦を受けてグローバルにリスク回避の動きが加速し、レアル相場も取引開始直後に3.78台前半までレアル安が進行。再び3.80乗せが視野に入る展開となつたが、引けにかけてはレアルの買戻しが優勢となり、3.74台前半で取引を終えている。なお、中銀は5月14日以来約1ヶ月ぶりに新規でのスワップ入札を見送った。トランプ大統領は18日、中国が発表済みの報復措置を実施すれば、同国からの輸入品2000億ドル相当に追加関税を適用すると警告。これを受け、中国商務省も19日、米国が追加関税リストを公表した場合、強力な報復措置を取るとの声明を直ちに表明した（「米国が正気を失い、そのようなリストを公表すれば、中国は包括的な量的・質的措置を講じ、強力に報復せざるを得ない」）。一方で米国は、新たな関税を実施して中国が再び報復措置を講じた場合は、「さらに2000億ドルの関税を中国輸入品に課す」とも表明しており、報復合戦の様相が強まっている。同大統領は、「米国は今後、貿易に関して中国や他の国から利用されることはない。我々は全ての米国民にとってより良く、一段と公正な貿易システムの構築に向け、引き続き利用可能であらゆる手段行使していく」との方針を示している。米中を主要な貿易相手国としている新興国にとってはネガティブな材料であり、レアルもその影響を免れそうにない。また、ブラジル中銀は昨日から注目のCOPOMを開催しており、本日夕刻に政策金利が公表される。現状維持との見方が大勢ではあるが、足許の外部環境の悪化、レアル安が中銀シナリオにどのような影響を与えていたかに注目が集まっている。

■ マーケットデータ

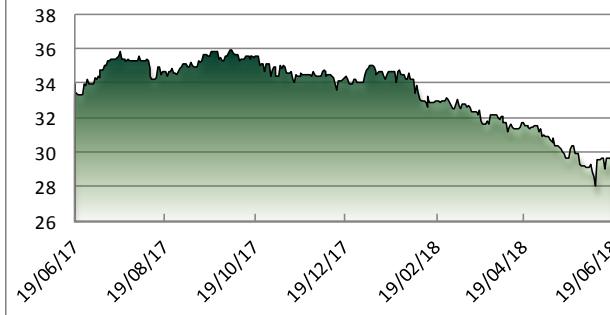
Indicator	Unit	6月18日	6月19日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値	
レアル	対 ドル	BRL	3,7470	3,7469	-0,00%	0,25%	3,1210	3,9672
	対 円	JPY	29,52	29,37	-0,51%	-0,91%	35,13	27,63
	対 ユーロ	BRL	4,3531	4,3421	-0,25%	-1,28%	3,8531	4,6831
円	対 ドル	JPY	110,55	110,06	-0,44%	-0,65%	104,56	113,39
	対 ユーロ	JPY	128,49	127,56	-0,72%	-2,17%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	69,815	71,394	2,26%	-14,07%	88,318	69,069	
CDS Brazil 5yrs	bps	278,00	273,31	-1,69%	34,80%	285,83	142,50	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,10	11,84	-2,15%	11,57%	12,40	9,43	
DI Future Jan19 (金利先物)	%	7,16	7,03	-1,75%	5,16%	7,88	6,21	
3 Months US Dollar Libor	%	2,3247	2,3247	0,00%	-0,20%	2,3691	1,6959	
CRB Index (国際商品指数)	Index	196,18	193,82	-1,20%	-4,85%	206,95	187,35	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



〈オフィスマン連絡先: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。